

スクールマネジメント実践報告書

109 潮陵中学校

ふるさとを愛し、夢や志をもってたくましく将来を切り開く子どもを育むために

小中一貫教育の実践（教育活動の方向性）

中学校区の目指す子ども像	主体的に人や社会と関わり、自他を高める子ども
本校の目指す子ども像	ひとみを輝かせ、たくましく実践を積み重ねる生徒



	小中一貫教育の具体的な取組	
	本校の取組	中学校区の取組
実現に向けた重点的な取組内容	①生徒の主体性を生かしたキャリア教育 ・上級学校訪問・修学旅行、職場体験学習 ②集団適応能力の伸長とリーダー性の育成 ・生徒会活動及び部活動 ③個々の生徒の思考力・表現力等の育成 ・生徒主体の行事、活動 ④ICTを利活用した授業を工夫 ・ICTの活用とリテラシー教育 ⑤自他や社会を考えた判断・行動力の育成 ・道徳教育、人権教育・同和教育 ⑥セルフマネジメント力の向上 ・小中一貫教育における系統的な健康教育 ⑦地域の財産を大切にする生徒の育成 ・夢・志チャレンジ「鮭捕獲加工体験活動」	①小中一貫教育推進会議を設け、知・徳・体それぞれの分野で目標、共通実践事項を具体的に定め、取り組むことで、系統立てた教育を行う。 ②以下の小中合同の各活動を充実させることによって、異学年間交流を深め、中学生が小学生の良い手本となることを意識させることで、地域に生きる人材、文化、産業の継承者、治政を志すリーダーを育成する。 ・学校保健委員会 ・保小中合同避難訓練 ・いじめ見逃しゼロスクール集会 ・学期ごとの健康週間 ・文化祭 ・相互授業参観 等
	成果○と課題■	成果○と課題■
	○教育活動全般について充実した取組を行うことができ、学校評価での肯定的数値が高かった。 ■学校行事を全校で行うため、毎年同様の経験をする生徒が多い。ねらいを明確にした上で内容を工夫する必要がある。	○各活動の教育的効果に対する内外評価は高い。特に保護者、CS、後援会等外部の方々の期待に応える結果となった。 ■保護者、地域の願いに沿った活動の推進と教職員の働き方改革の両立が困難な場面がある。

〈夢・志チャレンジスクール事業の取組（地域とともにある学校づくり実践）〉

取組の概要	主な活動内容	
○地域の方を講師として、地域の自然、産業文化、歴史について学ぶ体験活動を行った。また、その活動を通して地域の一員、さらには有形無形の様々な遺産の継承者としての意識を高めることができた。	総合（1年生）	地域お宝めぐり
	総合（全校）	鮭捕獲体験
	総合（全校）	鮭加工体験
学校運営協議会の評価 上記の活動そのものを支援してくださるとともに、活動によって生み出される地域住民としての誇りや郷土愛の意識の高まりを大いに評価していただいている。今後もこれらの活動を継続するとともに、コロナ禍によって中断していた地域活動の再開に向けた中学生の参加協力を期待されている。	○	当てはまる
		どちらかというと当てはまる
		どちらかというと当てはまらない
		当てはまらない

スクールマネジメント実践報告書

学校運営協議会の活動内容

学校運営協議会の委員の構成									
教職員	3人	保護者	2人	住民	4人	その他	1人	合計	10人
学校運営協議会の回数 ※()は、回数内における書面協議回数	本校単独	1学期	0回 ()	2学期	0回 ()	3学期	0回 ()	合計0回 ()	
	中学校区合同 ※中学校区で同数にする	1学期	1回 ()	2学期	1回 ()	3学期	1回 ()	合計3回 ()	

活動の内容	成果○と課題■
<ul style="list-style-type: none"> ・小中合同で年3回、学期に1回ずつ協議会を行い、各学校の教育活動に対する諮問、評価、要望を行った。その中で、地域住民としての願いを学校に伝えるとともに、協力体制の構築に向けた、忌憚のない意見の交換がなされた。 ・生徒数が減っていく現状をふまえ、今後の小規模校運営を市としてどのように行っていくのか等喫緊の課題について教育委員会に質問、要望を伝えた。 	<p>○一人一発言を基本として、各々の立場をふまえた意見を述べた。その中で、学校のためにどのような協力、支援ができるかについて意見交換がなされた。また、小規模校であることの利点、欠点についても話し合い、教育委員会に具申した。</p> <p>■コロナ禍の中で実施できなかった活動が少しずつ再開され始める中で、学校職員の負担にならないように中学生の参加を働きかけていかなければいけない。</p>

地域とともにある学校づくりの総括及び教育委員会への要望・意見
<ul style="list-style-type: none"> ・小規模校であることのメリットを十分に生かした機動力のある学校運営がなされている。地域人材を生かした各種講演会や行事、総合的な学習を通じて、生徒は知識としてだけでなく、体験によって様々な学びを得ることができている点が評価できる。 ・教育委員会には上記のような結果を踏まえ、今後生徒数減によって生じる様々な問題の解決に当たってほしい。

〈活動写真〉



○地域お宝めぐり（1年生）
かみえちご山里ファン倶楽部様を講師として、地域の古民家、遺跡などをめぐり、地域の素晴らしさを学んだ。



○鮭捕獲体験（全校）
桑取川漁業協同組合様を講師として、投網による鮭捕獲の体験を行った。今年度は43匹の大漁であった。



○鮭加工体験（全校）
桑取川漁業協同組合様を講師として、鮭の三枚おろし、鮭フレック作りを行うことで、地域伝統産業について学んだ。